

液面計 LM-500 簡易マニュアル

I. 準備

手順 1) センサーI/O ポート（背面パネル DSUB15Pin コネクター）と液面センサーとをケーブルで接続。

手順 2) 電源差込口（背面パネル）とコンセントを電源ケーブルで接続。

II. 液面計測

手順 1) 電源スイッチ（背面パネル）ON。 ⇒ 画面に液面位置が表示されます。

III. Sample/Hold モードと Continuous モード

i) Sample/Hold モードとは

Enter キーを押すことにより、あるいは Intvl メニューで設定された測定間隔ごとに液面計測を行い、液面位置の表示を更新します。Enter キーを押さないと、最後に計測された液面位置が表示されたままとなります。

ii) Continuous モードとは

連続的に液面計測が行われ、その都度液面位置の表示を最新の値に更新します。液面計測を行うための操作は不要ですが、必要以上に頻繁に液面計測が行われるおそれがあります。

iii) モードの切換操作

手順 1) Menu キーを押して Menu 画面を表示します。

手順 2) △キーもしくは▽キーにより“Mode”をハイライト表示にします。

手順 3) Enter キーを押して“Sample/Hold”か“Continuous”を選択します。

手順 4) 選択したモードが表示された状態で Menu キーを押して液面表示画面に戻ります。

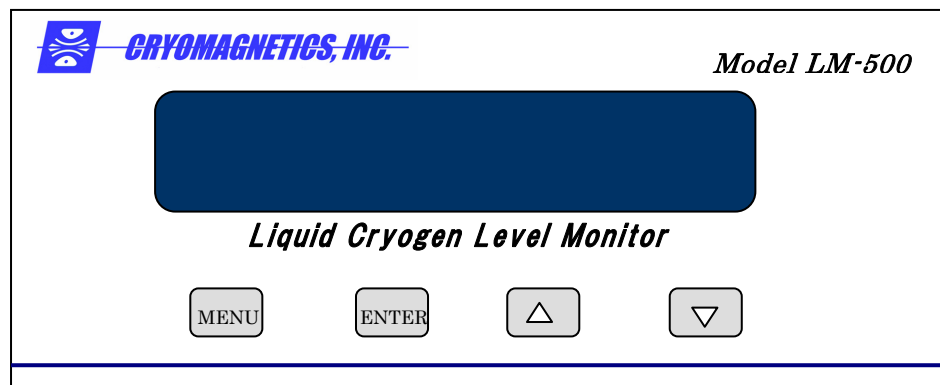
iv) 液面計測の実行操作

Sample/Hold モード：Enter キーを押す。⇒液面計測が行われ表示が更新されます。

Continuous モード：自動で液面計測が行われ表示が更新されます。（操作不要）

IV. 液面計測の終了

手順 1) 電源スイッチ OFF。



フロントパネル

V. メニューの各項目について

i) Mode

液面計測モードの設定を行うことができます。“Sample/Hold”、“Continuous”のいずれかを選択できます。

ii) Limits

アラーム機能もしくは自動再充填用外部シグナルのための液面位置の上下セットポイントの設定を行うことができます。

iii) **Fill** 自動再充填機能に関する設定を行うことができます。

iv) Intvl

液面の測定間隔（インターバル）を設定することができます。希望の時間が表示されるまで、△キーもしくは▽キーを押します。

v) Units

表示単位の設定を行うことができます。“cm”、“%”、“in”から選ぶことができます。

vi) Boost

センサー除氷モード（センサーが凍りついたときに通常より多めの電流を流すモード）の設定を行うことができます。

vii) Ports

RS-232、GPIB、アナログ出力ポートに関してパラメータの設定を行うことができます。

viii) Cal

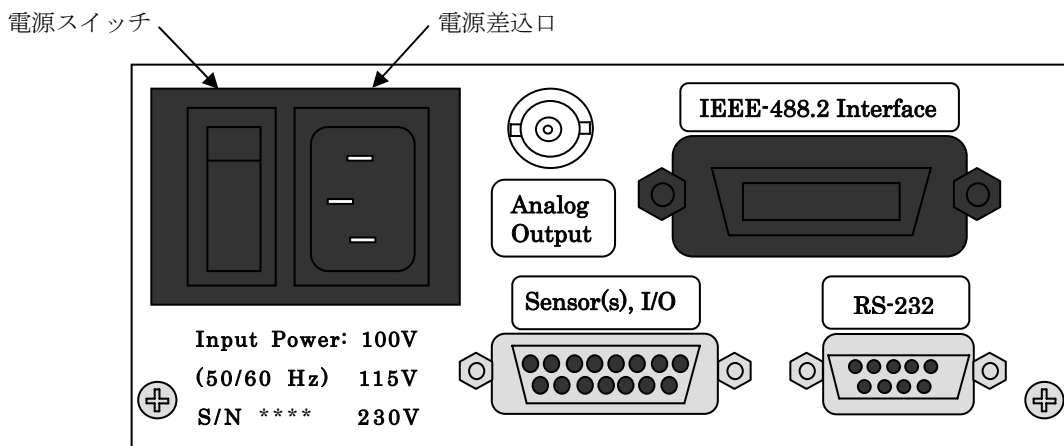
液面センサーの校正パラメータとして、センサー長、特性抵抗値、配線抵抗値を設定できます。

VI. メニューの操作方法

i) メニューに入るには…Menu キーを押します。

ii) 項目を選択するには…△キーもしくは▽キーを押して、希望の項目をハイライト表示させます。Enter キーを押して確定させます。

iii) 戻るには…Menu キーを押します。



背面パネル